

令和 8 年 9 月 10 日

厚木市報道資料

地域と三田小学校の交流事業 授業で作ったかかしを田んぼに

三田小学校の 5 年生が地域住民ともち米を育てている水田に、授業で作ったかかしを設置します。

1 日時

9 月 17 日 (木) 9 時～10 時 15 分 (雨天時は 18 日)

2 場所

睦合北公民館近くの水田 (三田 2144 付近)

3 主催

佐藤典子・三田小学校地域学校協働活動推進員、三田小学校 (杉山仁校長、児童数 645 人)、睦合北公民館

4 概要

三田小学校では、地域のパイプ役となる地域学校協働活動推進員が子どもたちと地域住民との活動をコーディネート。かかしは 1 日、地域活動団体が 9 体を制作しました。5 年生児童が顔を描いて飾り付けを行い、6 月からもち米を育てている水田に設置します。

5 P R したい内容、事業のポイント、前回との違いなど

- ・かかしの設置では、作業を手伝う地域住民がかかしの役割やもち米作りに必要な作業について説明します。
- ・三田小学校では日頃から、児童が安心して学校生活を過ごせるよう、地域住民による見守り活動を実施しています。
- ・制作したかかしは、「子ども見まもり隊」と書かれた帽子を着用。たわわに実ったもち米だけではなく、「児童も見守る」という地域の思いを込めています。

6 添付資料

現地地図

本資料の問い合わせ先

市民交流部 睦合北公民館・地区市民センター

センター長 高澤 博英 電話 046-241-1310